

第57回 試験研究成果発表会（作物）

千葉県では、農林水産業に関する最新の試験研究成果を広く関係者の皆様にお知らせするとともに、皆様からの声を今後の研究に反映させるため、各部門・地域で成果発表会を開催します。

参加は無料で、事前申し込みも不要です。お気軽にご来場ください。

※ 座席数には限りがあるため、当日先着100名様とさせていただきます。



詳細はこちらから

日時：令和2年1月29日(水) 9:30～16:30

会場：東部図書館 研修室（千葉県旭市ハの349）

【プログラム】

発表1 (9:40～10:05)

甘い「Qなっつ（千葉P114号）」を安定して生産する技術

落花生研究室

黒田 幸浩

発表2 (10:05～10:30)

圃場内乾燥期間を短縮し品質を保持する落花生乾燥技術について

流通加工研究室

蕪野 有貴

— 休憩 —

【特集】限られた水稻育苗施設の有効利用技術 —台風被害を乗り越えるために— (発表3-5)

発表3 (10:45～11:10)

育苗ハウスを使わずに省力的な苗づくり—露地プールを用いた「コシヒカリ」の稚苗育成技術—

水稻温暖化対策研究室 鈴木 聡史

発表4 (11:10～11:35)

疎植栽培で収量と玄米品質を低下させないためには品種特性を知ることが必要—「ふさこがね」で疎植栽培を行う場合—

水稻温暖化対策研究室 太田 和也

発表5 (11:35～11:55) (情報提供)

育苗の変更により移植時期が遅れる場合の本田栽培の留意点

—栽培管理支援システムによる作付け計画の策定と晩植「コシヒカリ」栽培の注意点—

水稻温暖化対策研究室 望月 篤

— 休憩 —

発表6 (13:00～13:25)

温暖化が水稻に及ぼす影響

水稻温暖化対策研究室 望月 篤

発表7 (13:25～13:50)

新しい防護柵「集落柵」で集落のイノシシ被害を減らそう

生産環境研究室 松村 広貴

発表8 (13:50～14:15)

イネクロカメムシの生態と効果的な箱施用剤

病理昆虫研究室 武田 藍

発表9 (14:15～14:35) (情報提供)

イネばか苗病の防除対策—健全種子の生産に協力ください—

病理昆虫研究室 福田 寛

— 休憩 —

発表10 (14:50～15:15)

飼料用米多収品種「アキヒカリ」、「夢あおば」の特性を活かした多収栽培法

水稻温暖化対策研究室 太田 和也

発表11 (15:15～15:40)

WCS用イネの品種特性を活かした栽培技術

—品種特性を活かした作期分散、堆肥を利用した茎葉型品種の栽培技術—

水田利用研究室 西川 康之

発表12 (15:40～16:05)

倒伏に強く、多収で大粒の水稻良食味晩生品種「粒すけ」の育成

水田利用研究室 林 玲子

発表13 (16:05～16:25) (情報提供)

水稻新品種「粒すけ」の優れた食味・品質を活かすための栽培法

水田利用研究室 西川 英輝

【会場のご案内】 JR総武本線旭駅より徒歩15分。

【お問い合わせ先】 千葉県農林総合研究センター 水田利用研究室
電話番号：0478-56-0002



「Qなっつ」を用いた商品



露地プール育苗



イネクロカメムシ



左「粒すけ」 右「コシヒカリ」

